

米山学友の群像 vol.3

Yoneyama Alumni in the World



「米山学友の群像 vol.3」発行に寄せて

このたび、私たちが心を込めて支援し、それに応えるように今や世界で活躍する米山学友(元米山記念奨学生)の情報をまとめてお伝えする広報誌「米山学友の群像」第3号を発刊する運びとなりました。

「米山学友の群像」は、2005年6月に第1号、そして2007年9月に第2号が発刊されました。米山月間用資料として、全ロータリークラブへ配布され、私たちが手塩にかけた奨学生が、学友としてそれぞれの母国や日本を始め世界各地において活躍している様が活写され、大きな感動を与えてまいりました。

また、関係省庁や諸団体、そして各大学にも送付され、私たちロータリー活動の成果を広く地域に伝える対外広報誌としても大きな役割を果たしてまいりました。

私は、かねてよりロータリー米山記念奨学金への寄付はこの素晴らしい奨学事業の片道切符でしかないと思ってきました。すなわち、優れた奨学生の世話クラブになり、また奨学生をクラブに迎えて卓話を聞くなどの接点を設けることが重要な帰りの切符であると思うのです。そうすることにより我々の奨学事業への意欲が高まるだけでなく、奨学生の日本文化への愛着が深まるものと思われまます。

最近、台湾、韓国、中国の各学友会に出席して、その盛会ぶりに心からの感動を覚えてまいりましたが、その原因は、一つには、彼らが真に日本と日本人の心を理解し、その恩に報いようとする感謝の気持ち、そして二つには、彼らの母国への愛国心だと思います。この両方の心の交わる所に真の国際平和が成就するものと確信いたします。

どうぞ、アジアの平和から世界平和に貢献する彼らに惜しめない拍手をお送りください。

2010年9月



(財)ロータリー米山記念奨学会
理事長 板橋 敏雄



C O N T E N T S

はじめに

「米山学友の群像 vol.3」発行に寄せて

1.ロータリー米山記念奨学事業とは	2
2.世界で活躍する米山学友	5
●学友の受賞	14
●芸術を担う学友たち	16
3.米山学友会の活動	18
●国内学友会	
～地域密着でロータリーとの交流や奉仕活動に励む～	18
●海外学友会	
～帰国した米山学友のネットワークに寄せられる大きな期待～	20
4.世話クラブ・カウンセラー制度があればこそ	22
5.データで見る米山学友	24

ホームカミング制度のご案内

ロータリー米山記念奨学会では、2008年度より「ホームカミング制度」を設けて、米山学友の里帰り訪問を推進しています。

活躍する学友を各ロータリー地区が毎年1名選び、地区大会などの行事に招待して、ロータリアンにその活躍ぶりを披露していただく制度です。2008年度は15人、2009年度は19人の米山学友が本制度の招へいを受けて母国から来日。奨

学期間中お世話になった地区やクラブのロータリアンとの旧交を温め、交流を深めました。

学友にとっては、日本との絆を再認識するまたとない機会であり、ロータリアンにとっては、奨学事業の意義や成果を実感できる貴重な機会となっています。

「ホームカミング制度」の詳細については、米山記念奨学会ホームページをご覧ください。



1 ローターリー米山記念奨学事業とは

民間最大の奨学事業です

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967年に財団法人として設立の許可を受け、これまでに世界119の国・地域出身の15,776人(2010年4月現在)におよぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、民間で最大の奨学団体*となっています。

* (財)助成財団センター発表の助成等事業費上位100財団(2008年度)において、米山記念奨学会は年間助成額:12億5千万円で第5位、民間の奨学団体としては第1位となっています。

【奨学金の種類と採用人数(2011学年度)】

ロータリー米山奨学金一覧	月 額	期 間	募集システム	人 数
1. 学部課程 (YU)	10万円	最長2年	指定校推薦	796人(枠)
2. 修士課程 (YM)	14万円			
3. 博士課程 (YD)	14万円			
4. 地区奨励	7万円	1年	世話クラブ推薦	
5. クラブ支援 (CY)	14万円	6カ月/1年		
6. 現地採用	7万円 (渡航・住居費、授業料別)	2～3年	*2010学年度より募集停止	2人 (継続者)
7. 海外学友会推薦	14万円 (渡航・住居費別)	1年	海外学友会推薦	2人
奨学生採用数(枠) 計				800人

上記は、2011学年度(4月1日～3月31日)の採用(予定)数です。継続者も含みます。

4.地区奨励奨学金は1人枠で2人採用できるため、実際の奨学生数は、800人を上回ります。

世界の平和を願って始まった奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業の歴史は、50年以上前にさかのぼります。

敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して3年後、米山梅吉氏がそれを見ずして、奉仕に捧げた生涯を終えてから6年後のことです。米山梅吉氏が生前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。そして、2年にわたる募金活動の後、1954年にタイから第1号奨学生となるソムチャード氏を招聘したのです。氏は、東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局、タイシルクの増産に貢献しました。

米山記念奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「世界の懸け橋」となることを願ってつくられたのです。



米山基金による
第1号奨学生
ソムチャード氏
(1954年)

奨学生懇親会(1958年)



「世話クラブ・カウンセラー制度」による 留学生の心のケアを重視しています

ロータリー米山奨学金制度の最大の特徴は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。

親善・交流を通じた国際理解を推進する米山奨学事業の要であり、ロータリークラブという地域密着の組織だからこそできる重要な特性といえるでしょう。

奨学生には、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれます。さらに世話クラブの会員の中から、専任のカウンセラーが1人付いて、奨学生の日常の相談に乗ったり、文化体験の案内役や交流の橋渡しに努めたりして、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるよう

に配慮しています。大学の指導教員と連絡を取り合ったり、自宅に奨学生を招いて家族ぐるみで交流したりする例も多くあります。

奨学生には毎月1回世話クラブの例会に参加することが義務づけられており、奨学金もそこで手渡されます。そのほかにも、奨学生には、ロータリークラブの例会で母国のことや自分の研究について卓話(スピーチ)したり、クラブ・地区の社会奉仕活動、交流会や研修旅行に参加したりと、ロータリーの活動を通じて、日本文化や地域社会と触れ合うさまざまな機会が提供されます。

「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い魅力として、奨学生はもとより、他団体や大学、行政機関などからも注目されています。



米山カウンセラーとの交流



ロータリーの地区やクラブの行事に参加



奨学生による卓話

米山梅吉さんって、どんな人？

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏(1868－1946)は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー(カリフォルニア州)ウエスレアン大学(オハイオ州)シラキウス大学(ニューヨーク州)で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日というフィランソロピー(Philanthropy)の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、

ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校(現在の青山学院初等部)を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

【もっと知りたい人のための参考図書】

米山梅吉の一生

著者：三戸岡道夫

発行：栄光出版社(2009年4月)

価格：1,575円(税込)



ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,976、会員総数1,228,303人(2010年5月31日国際ロータリー公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,301、会員数89,388人(2010年6月末現在)となっています。

出典:『ロータリーの友』(※)2010年9月号より

※『ロータリーの友』は、日本のロータリー会員向けに毎月発行されているロータリー地域雑誌です。



ロータリーの創始者ポール・ハリス
(1868-1947)



1935年、来日したポール・ハリス(前列左から3番目)を囲む米山梅吉(左隣)ら日本のロータリアン



日本のロータリーの父 米山梅吉
(1868-1946)

2 世界で活躍する米山学友

ロータリー米山記念奨学会では、これまでに1万5千人もの優秀な学友を世に送り出してきました。ロータリー精神に触れ、心を育んだ米山学友は、いま母国で、日本で、世界で活躍しています。

そのすべてをご紹介することはできませんが、ここでは、各国出身の代表的な学友の活躍をご紹介します。

Attention!

各学友の氏名の下に記載されているのは、奨学年度／奨学期間中の所属大学／世話クラブ です。国名は、出身国を指しています。

よねやまだより

ホームページ「よねやまだより」のページで紹介しています。

すばらしい贈り物

事業紹介ビデオ「すばらしい贈り物」に登場しています。
(ホームページ「事業紹介ビデオ」のページで視聴いただけます)

心つないで、世界へ

学友の活躍紹介ビデオ「心つないで、世界へ」に登場しています。
(ホームページ「事業紹介ビデオ」のページで視聴いただけます)

米山記念奨学会DVDシリーズ



すばらしい贈り物 ロータリー米山記念奨学会

制作：2008年9月
所要時間：22分

内容：●「世話クラブ・カウンセラー制度」を通じたロータリアンと奨学生とのふれあい
●事業の沿革・概要（取材映像・CG映像で解説）
●学友の活躍の姿、インタビュー（韓国取材映像）



心つないで、世界へ ロータリー米山記念奨学会の学友たち

制作：2009年7月
所要時間：15分

内容：中国、台湾、モンゴル、ネパール、スーダン出身の、顕著な活躍を遂げる5人の学友を中心に紹介します。
(中国学友会設立総会の様子も収録)

韓国

Korea

クワン チョルヒョン

権 哲賢 さん

1984－87／筑波大学大学院／佐野東RC

第18代駐日大韓民国特命全権大使。日本留学から帰国後、東亜大学教授などを務め、1996年から国会議員に3回連続当選、大統領選では李明博氏の補佐官を務めた。

2008年4月、李明博大統領から駐日韓国大使として任命された。



■第38回ロータリー研究会での講演要旨から(一部抜粋) 2009年11月19日

博士号を取得して韓国に帰る最後の日、佐野東RCの皆さんが私たち夫婦のためにお別れ会を開いてくださいました。食事が終わるころ、皆さんが外に出て、手を高く差し伸べてトンネルを作ってくれました。本当に感激してその中をくぐったのですが、その時皆さんが私に、「権さん！韓国の大統領になって戻ってこい！」と言ってくれました。韓国に戻って、苦しい色々なことがありました。でも、皆さんの激励や期待感が、いつも私に勇気を与え、私を支えてくれたと思っています。(中略)佐野東RCと韓国のウルサンRCと姉妹締結を私が手伝ったことがあります。その時、記念杯に“韓国の権哲賢教授のおかげで姉妹関係を結ぶことができた”と書いてあり、それを見て「これから私がしなければならぬことはこれだ！」と思いました。韓国と日本との間に小さな懸け橋をかける役割を果たそう、そう決心をしました。大学教授時代も国会議員になってからも、“近くて遠い国”と言われる韓国と日本を“近くて近い国”にしようとして一生懸命やってきたのは、この時のことがきっかけだったと思います。

今は日韓関係が本当に良い関係になっていますが、私が奨学生だった当時、まだ韓国と日本は

あまり良い関係ではありませんでした。ですから「どうして日本のロータリークラブは、韓国の留学生に奨学金をくれるのだろうか」という、不思議な思いがあったものです。その訳は、私が佐野東RCの例会に出席するようになってから少しずつわかることになりました。ロータリークラブの精神は奉仕と犠牲ではないか。だからこそ、このように(当時)良い関係ではない韓国の留学生にも奨学金を支給する、これがロータリー精神の反映ではないか、そういう気がしたのです。

米山記念奨学会は、色々な国からきた大勢の留学生たちに奨学金を出しています。米山を卒業した多くの学生が、「将来、奉仕と犠牲の精神を持って貢献しなければならない」「世界のなかで、母国と日本の間で何か役割を果たさなければならない」と考えるでしょう。ロータリー米山記念奨学事業は、世界の平和のために本当に良い役割を担っているのではないかと私は思っております。

最後に、ロータリアンの皆さまが今まで私に本当に大きな配慮をしてくださったことに対し、本当に感謝しております。これからも、ロータリーと米山記念奨学会のますますの発展をお祈り致します。ありがとうございました。

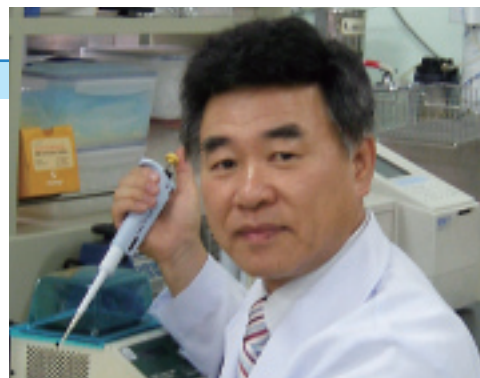
チョン ヨンキ
鄭 永基 さん

すばらしい贈り物

1985-88 / 広島大学大学院 / 西条RC

東亜大学教授。メシマコブの薬酒「千年約束」の開発者。「千年約束」は、2005年に韓国・釜山で開催されたAPECの公式乾杯酒に選ばれた。日本留学中、知的障害のある長女への東広島市民の温かい支援に感銘を受け、1988年に学位を取得して帰国後、私財を投じて「ハンマウム福祉会」を設立。

現在、「社会福祉法人ハンマウム学園」理事長として、知的障害をもった子どもたち50人以上の生活を支え、自立を支援している。



キム ヒョンファン
金 玄勲 さん

よねやまだより

1996-97 / 日本社会事業大学大学院 / 大宮南西RC

社会福祉法人幸福創造理事長。

幼少時、施設で育った苦勞から福祉の道を志し、アルバイトしながら大学に進むことのできる日本に留学。

現在は、ソウルで老人ホーム、保育所、家庭内暴力に苦しむ女性の保護施設などを運営して地域の社会福祉を担うとともに、毎年、日本を含めた北東アジア6カ国の子ども達のキャンプも行っている。



ファン
黄 セミ さん

2001-02 / 国際基督教大学大学院 / 東京南RC

日本留学から帰国後、梨花女子大学通訳翻訳大学院日韓通訳学科に進学、卒業。

現在、同大学院付設の通訳翻訳研究所所属の国際会議通訳者として活躍中。

2003年第7回ロータリー日韓親善会議に続き、2009年の韓日親善会議でもスピーチし、大きな感動を呼んだ。



ロータリー米山記念奨学金は、経済的な支えはもちろん、心と心のつながりについて教えてくださいました。そして、何より、私に韓国の中で描かれていた日本ではない、真の日本について教え、私の視野を広げてくださいました。

帰国後、私は通訳のスキルを学び、日本での勉強や経験を基に、微々たるものですが、日韓の架け橋の役割を果たすため努力しながら、一人の女性として、二人の子供の母親として生きています。私の祖父母や両親の日本への感情が私にも伝わるように、私一人の、ロータ

リーを通じた経験は、私の子供たちはもちろん、孫やその子孫にまで受け継がれるでしょう。

来年小学生になるうちの娘が、もう少し大きくなったとき、私もこのように話してあげたいです。「森から出て、さらに大きな森を見てみなさい。おじいちゃんの世代とはまた違う固定観念を持っているあなたの世代の固定観念に縛られず、日本を見なさい」と。「そして、そこに行つて直接学んで、彼らの生き方や考え方を感じなさい」と。

(2009年9月5日ロータリー韓日親善会議スピーチより)

イ ドンファン
李 東勲 さん

よねやまだより

2002-03 / 国士舘大学大学院 / 東京神宮RC

2004年、千葉ロッテマリーンズの通訳・広報担当として入社。

2008年、スポーツを通じてさまざまな国の選手や観客に感動と一体感を味わってもらいたいと、スポーツイベントのサポート・通訳を行う会社「(株)プレミア・スポーツ・マネージメント (PSM)」設立。

通訳・翻訳ほか、日韓交流イベント、貿易事業など幅広く展開している。日本で初めて米山学友を中心に設立された東京米山学友愛RCの創立会員。



台湾

Taiwan

ジョ ジュウニン

徐 重仁 さん

1976－77／早稲田大学大学院／平塚RC

台湾セブンイレブン、スターバックスなどを展開する台湾最大の流通・小売企業、「統一超商」の代表取締役社長。

台湾大地震発生の際は、全社を挙げて救援活動にあたったほか、同社の自主活動組織「台湾美化協会」会長として、トイレ清掃をする社会貢献活動にも熱心に取り組んでいる。

1995年、台湾に帰国した米山学友が中心となった設立したロータリークラブ、台北東海RCの初代会長に就任。社団法人中華民國扶輪米山会（台湾米山学友会）の初代理事長でもある。



■台湾学友会主催シンポジウム「日本留学を考える」でのスピーチより 2006年9月23日

私は子供の頃から、父の話に影響を受けて、一心に日本留学を考えていました。大学では商学を専攻しながら日本語を猛勉強して、ついに留学の夢を実現することができました。

しかし、物価の高い日本では留学資金はすぐに底を突き、学費と生活費のためにアルバイトを始めなければならませんでした。このときの経験は私にとって生涯忘れられない思い出です。学校が終わると深夜までアルバイトをし、そのままそこで寝て、着替えもせずに登校するような毎日でした。寝不足と疲労、そしてその何倍もの寂しさ、当時の辛さはとても言い表せませんが、この一番困難な時期を乗り越えたことで、私は生涯にわたる強い意志と忍耐力を磨くことができました。

帰国後、統一超商を設立してから草創期にたくさんの挫折、困難に遭遇しましたが、一度もあきらめ

たことはありません。強い闘志と勇気を持って、どんな山場でも乗り越えることができると信じています。

日本留学は私にとって人生の転機であり、留学時代に日本小売業の高度成長期に立ち合えたこと、そして日本で学び取った学習精神は、以後の自分の事業発展に大きく役立ちました。また、米山記念奨学生としてロータリークラブの皆さんと交流した経験は、私に深い影響を与えて、帰国後ロータリアンになる重要なきっかけとなりました。

もしも、もう一度選択の機会があるのならば、私はやはり若い時に異国での留学から得られた経験と成長を選択すると思います。日本を留学先を選ぶことは、活発な台日関係において就職などにも比較的に有利に働くでしょうし、現地の風俗民情、歴史文化や地元の人々との交流なども、多彩な留学生活の思い出となることと思います。

キョ コクブン

許 國文 さん

1975-77 / 徳島大学大学院 / 徳島RC

羅東博愛病院 理事長。

2005-06年度第3490地区ガバナー。日本留学から帰国後、羅東西RCに入会。2005年7月から1年間、史上2人目、台湾では初めての米山学友出身ガバナーに就任。2009年から台湾米山学友会が始めた日本人若手研究者支援奨学金制度の発起人であり、2010年1月より、台湾学友会((社) 中華民国扶輪米山会)の理事長を務める。



ライ ミンチュ

頼 明珠 さん

1977-78 / 千葉大学大学院 / 松戸RC

今や海外でもファンの多い村上春樹氏の作品を、世界で最初に翻訳し台湾に紹介した。以来、同氏の著作の翻訳を30冊以上手がけ、中国語圏を代表する村上作品の翻訳家として、台湾・香港で名声を博している。日本でも話題を呼んだベストセラー『1Q84』の翻訳も手がけており、台湾ではBook3が2010年10月に出版予定。

村上春樹の作品は今や40を超える国・地域で翻訳されています。台湾でも高く評価され、とくに若い読者に幅広く読まれ、良く知られています。新作『1Q84』のBook1・Book2の中国語版は、2009年11月に台湾と香港で発売され、好評を得ました。Book3も引き続き、翻訳中です。読者から「Book3はいつ出ますか? 待っています」とよく言われ、翻訳者として、とても嬉しいです。



リン マンレイ

林 曼麗 さん

1981-83 / 東京大学大学院 / 東京保谷RC

台北教育大学 芸術学系 教授。前国立故宮博物院 院長。

帰国後、台北市立美術館館長などを経て、2004年5月より、世界四大博物館に数えられる国立故宮博物院の副院長に就任。同博物院の固定観念をくつがえすような斬新な改革を行った。

2006年1月、女性として初めて、閣僚級とされる国立故宮博物院の院長に就任し、2008年5月に退任するまで同博物院の新しい魅力をアピールした。

心つないで、世界へ



ウー シェンツァン

呉 憲璋 さん

1986-87 / 明治大学大学院 / 東京原宿RC

台湾法務部矯正司 司長。

台南刑務所保安課長時代に、犯罪発生率が台湾の10分の1という日本の犯罪予防策や再犯を防ぐための新しい矯正教育の知識を得たいと発起し、日本に留学。日本各地の刑務所・少年院などを回って芸術活動を取り入れた矯正教育などを学び、その知識をもとに帰国後、新竹刑務所などで“奇跡”と呼ばれる刑務所改革を行った。

2009年6月より、日本の法務省矯正局長にあたる現職に就任。台湾内の全49刑務所を管轄するトップとしての重職を担っている。



中国

China

キ グン
姫 軍 さん

心つないで、世界へ

1995-97 / 東京大学大学院 / 東京臨海RC

北京・上海で弁護士として活躍。顧客は日本企業が多く、2007年にはヤマハ発動機を原告とする商標権侵害訴訟を担当し、渉外商標権の損害賠償額としては過去最高額の830万元を勝ち取り、日本でも話題となった。

2009年3月に正式発足した中国米山学友会の初代会長に就任。2010年は中国米山学友会副会長および北京・天津を中心とした華北分会会長。

2007年より米山記念奨学会に毎年50万円の寄付を続けている。



■中国米山学友会成立大会でのスピーチより 2009年3月28日

我々はなぜ中国学友会を設立するのか。この2～3カ月、私は学友の皆さんにたくさんのEメールを出し、毎日100通以上の返信を頂きました。米山奨学金に対する非常に強い感謝の気持ち、それが皆さんからのメールの共通点でした。ある学友からの返信には「米山奨学金への感謝の気持ちは今でも忘れたことはありません。中国学友会の設立は、元米山記念奨学生としての夢でした」とあり、心が熱くなりました。

なぜ、今日ここに集まるのか。その第一の原点は、米山奨学会への感謝の気持ちだと思います。

次の点として、皆さんは感謝だけではなく、どのように恩返しをしようかと考えていると思います。中国には「滴水之恩、当以湧泉相報（たとえ一滴の水でも受けた恩義は、湧き泉として報いるべき）」ということわざがあります。では、どのように恩返しをするか。ロータリーの皆さんは、我々よりもっと成功していて、我々が持っているもの、差し上げたいものは全て持っている。どうすればよいのか。世話クラブのロータリアンは私にこう言いました。「その恩義を我々に返すのではなく、次の若い世代に伝えてくだされば、それが我々にとって恩返しです」。私は非常に

に感動しました。米山奨学金がなかったならば、今、私はここに立っている私ではない。皆さんは、今そこに座っている皆さんではない。この奨学金をいただいて、我々は夢を持ちました。夢を実現する力をいただきました。この恩義を、どのように次の世代に伝えるかが、我々の使命ではないかと思います。

3点目は、感謝や恩返しだけではなく、最も意味あることです。中国で初めて日本を紹介する番組を見て、一つ感じるがありました。中国・中国人の日本に対する理解レベルが非常に低いということです。多くの中国人が日本人や日本をあまり知らないのです。皆さんは日本で日本人のように生活し、勉強し、仕事をしてきました。皆さんが日本を最もよく知る中国人だと言えなければ、皆さんより日本をよく知る中国人はいない。皆さんが日中関係の友好的な発展を最も望んでいる人でなければ、皆さんよりそれを望んでいる人はいないと思います。中日友好関係をどのように発展させていくかは、我々の責任、使命です。

この3つが、今日我々が集まった理由であり、皆もこのような気持ちを持って、遠くから集まってくれたのだと思います。

カ リュウ
柯 隆 さん

1992-94 / 名古屋大学大学院 / 名古屋大須RC

富士通総研 経済研究所 主席研究員。

中国マクロ経済研究の第一人者として知られ、経団連や経済同友会の会合での講演も多い。事実に基づく客観的な分析と的確な言葉で表現するセンスが高く評価されている。

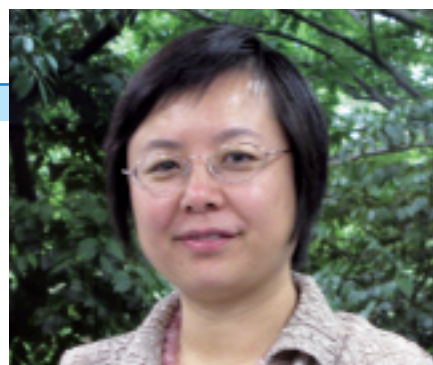
著書に『中国の不良債権問題—高成長と非効率のはざまで』、『華人経済師のみた中国の実力』(共著)など。

チョウ ギョウエン
張 曉燕 さん

1997-99 / 京都大学大学院 / 京都洛南RC

復旦大学 生物医学研究院 上海公衆衛生臨床センター 教授。

京都大学で医学博士号取得後、ニューヨーク大学に研究員として留学。2002年、中国衛生部直轄の中国疾病予防控制中心入職。同機関の性病・エイズ病予防センターにて、新型エイズワクチンの開発研究に従事した。2009年より上海の名門、復旦大学教授に就任。中国で増加の一途をたどるエイズの調査・研究に多忙な日々を送っている。

ソウ ジントク
宋 仁徳 さん

2002-03 / 鹿児島大学大学院 / 西都RC

青海省玉樹チベット自治州畜牧獣医センター所長。

チベット高原の代表的な家畜ヤクの生産利用の研究にあたる。奨学期間後もロータリーとの交流を続け、2008年11月にはホームカミング制度での招聘を受け、第2730地区の地区大会にも参加。

2010年4月に発生した青海省玉樹県を震源とする大地震では、自身も被災しながらも救援活動や疫病予防対策処置に尽力した。



今、振り返っても4月14日は怖かったです。山からの異様な音を耳にし、「地震だ、外に逃げろ」と叫んで妻と一緒に外に出た途端、家が崩れました。4日間は被害調査や同僚の搜索、救援物資の仕分けや配布でほとんど眠る間もなく、5日目からは疫病の流行を防ぐために、85人の救急獣医救援隊とともに、4万頭を超えるヤクや羊、馬などの死骸処理と、ワクチン接種、32万㎡の消毒を行いました。口蹄疫で「非常事態宣言」の出た宮崎のニュース

を新聞やテレビで目にし、本当に心が痛みます。動物の命を助ける獣医が動物を殺さなくてはならない、畜産農家の方々も一頭一頭名前をつけて大切に育ててきた牛を目の前で殺される。本当に気の毒でたまりません。玉樹の街が一日も早く復興するように、また宮崎の口蹄疫も一日も早く終息しますよう、祈っています。

(2010年6月1日のメールより)

ヨウ カンホウ
楊 敢峰 さん

2004-05 / 筑波大学大学院 / 水戸南RC

蘇州竹園武術館 館長。

2006年に帰国し、蘇州竹園剣道倶楽部を開設。「竹園」の名は、日本留学時にボランティアで武術を教えたつくば市の竹園公民館にちなんでいる。

2008年に蘇州竹園武術館を開き館長となる。現在の門下生は約200人。中国人には日本の剣道を、日本人には太極拳を教え、日中交流の場にもなっている。中国武術六段、武術審判(演武・散打)国家一级、剣道三段。

よねやまだより





心つないで、世界へ

ジャンチブ・ガルバドラッハ さん

モンゴル 1998-99 / 山形大学大学院 / 山形北RC

2000年、モンゴル初の3年制高校「新モンゴル高校」を設立。学校設立にあたっては、山形北RCを中心に結成された「柱一本の会」などから多くの善意が寄せられた。卒業生の多くは、日本はじめ世界各国の大学に留学。将来の国を支える力として期待されている。



フィン・ムイ さん

ベトナム 1973-74 / 東京大学大学院 / 東京品川中央RC

1988年、ベトナム初の私立大学「タンロン大学」を首都ハノイに設立、初代学長となる。現在は、タンロン技術学院の院長として、日本語教育やIT・CAD技術者養成を通じ、ベトナム人学生の新たな職業機会をサポート。また、日本企業とのビジネスを展開し、越日ビジネス交流に幅広く貢献している。



ティン・エイエイコ さん

よねやまだより

ミャンマー 1995-96 / 神戸大学大学院 / 加古川中央RC

ティンミャンマーランゲージセンター校長。少人数制と、独自に開発された教材やカリキュラムの質の良さで定評があり、日本語スピーチコンテストの上位入賞者を多く輩出するなど、成果を上げている。2008年5月にミャンマーのデルタ地帯を襲ったサイクロン被害の復興支援にも尽力している。



鄧 奇偉 さん

デン キーウィ

マレーシア 2003-05 / 神奈川大学大学院 / 横浜戸塚中央RC

2006年、故郷のパナン島で「三笠野日本語 & 留学センター」を設立。留学準備コースのほか、初級～上級までの日本語クラス、日本語能力試験対策コースを備え、年間200人以上（延べ500人以上）の学生、日系企業に勤める社会人が学んでいる。



コン・テイリ さん

カンボジア 2000-02 / 名古屋大学大学院 / 岡崎東RC

名古屋大学法政国際教育協力研究センター准教授。カンボジアやベトナムの大学での日本法教育研究センターの開設に尽力してきたほか、カンボジアに比較法学会を設立。中部名古屋みらいRC（第2760地区）の創立会員。



ルチ・ネタニ さん

インド 1993-95 / 熊本大学大学院 / 熊本RC

卒業後、日本企業に就職して実績と人脈を培い、インドに帰国後は、ソフトウェア開発会社の取締役として、日本企業と提携して事業を推進している。ヒンディー語、英語、日本語を自在に操る高い語学力を生かして、通訳、司会者としても活躍中。



心つないで、世界へ

アルチャナ・シュレスタ・ジョシ さん

ネパール 2001-02 / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿西RC

ネパールで女性の自立支援のための職業訓練所「ルーザー（日の出）トレーニングセンター」を開設。日本や韓国のロータリークラブや地区の支援を得て、貧しい女性たちに縫製や理容などを無償で教えている。第3292地区ラリトプールRC会員。

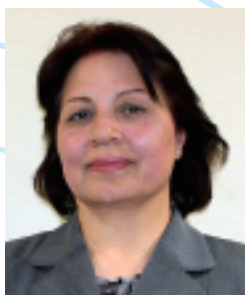


スルタニ

駿溪トロペカイ さん

アフガニスタン 1981-83 / 筑波大学大学院 / 小山RC・土浦RC

2000年に日本に帰化。2003年カブールに「希望の学校」設立。教育を受けられずに成人したアフガニスタン女性のために識字教育と職業訓練を行っている。筑波大学教育開発国際協力研究センター学外研究員。お茶の水女子大学グローバル協力センター客員准教授。



イブラヒム・アブバカー・イリヤ さん

ナイジェリア 2002-03 / 岐阜薬科大学大学院 / 岐阜城RC

アメリカでエイズ治療研究後、ナイジェリアに帰国。現在は国立製薬研究開発研究所の薬草・伝統薬研究室で准教授・副室長。植物から新しいエイズ治療薬を開発研究している。



よねやまだより

ノアイン・アマリア・ギンゾ さん

ベネズエラ 1998-99 / 千葉大学大学院 / 千葉港RC

日本で博士号取得後、帰国。母校であるベネズエラの最高学府、ベネズエラ中央大学建築学部教員となる。現在、ベネズエラ中央大学都市計画研究所教授。建築家。



よねやまだより

MD・アノア・フサイン・ミアン さん

バングラデシュ 2006-08 / 東京医科歯科大学大学院 / 東京王子RC

ダッカ大学付属シティ・デンタル・カレッジ准教授。未来の歯科医師養成に励む傍ら、地方に向いて貧しい人々に医科や歯科の無料診療を行う医療キャンプを開催。過去11回にわたって行ったキャンプで、延べ7,000人以上が無料で診療や投薬を受けた。



イゴル・ドゥコスキ さん

マケドニア 旧ユーゴスラビア共和国 1999-2001 / 中央大学大学院 / 東京八王子北RC

帰国後、マケドニア外務省に入省し、2005年より駐米マケドニア大使館に赴任。2008年9月より在デトロイトマケドニア総領事。



よねやまだより

スチュアート・マクブヤ・センパラ さん

ウガンダ 2001-02 / アジア学院 / 鹿沼RC

母国で赤十字の活動にかかわり、1986年、内戦やエイズで親を失った子どもを支援するNGO・ウガンダ意識向上財団(CUFI)を設立。アジア学院(栃木県那須塩原市)での2度の留学成果を生かし、帰国後、CUFIで学校給食や有機農業、環境植林などのプロジェクトを推進している。



よねやまだより

ウガルテ・カボ・ファン・ルイス さん

ボリビア 2004-06 / 長崎大学大学院 / 長崎出島RC

2008年4月から、国立エル・アルト大学で教鞭をとり、口腔衛生分野の後進を育てている。週末には車を何時間も飛ばして歯科医のいない地域を訪れ、治療や予防教育のボランティアも行っている。



学友の受賞 ～栄えある受賞おめでとうございます～

ナイスステップな研究者2007 受賞

リム ウィイ
林 維毅 さん

(マレーシア/1998-2000/九州工業大学大学院/門司西RC)

在学中に"日本初"の大学発留学生ベンチャーを立ち上げ、留学生出身起業家の先駆者として幅広い活躍を続ける林維毅さんが、文部科学省科学技術政策研究所が主催する「ナイスステップな研究者2007」を受賞しました。この賞は、科学技術の振興・普及に特に顕著な貢献をした人に贈られるもので、林さんは「留学生による地域とアジアを結びつけるイノベーションの推進」が高く評価されての受賞でした。林さん

よねやまだより



は、(株)マルテック(本社:福岡県飯塚市)の代表取締役CEOとして、世界市場展開を目指しています。

人間力大賞2008 受賞

モハメド・オマル・アブディン さん

(スーダン/2005-08/東京外国語大学/東京国立白うめRC)

心つないで、世界へ



幼少時からの進行性の病により視力を失ったモハメド・オマル・アブディンさんは、大学院で紛争予防の研究に励む傍ら、スーダンの視覚障害者の環境改善を支援する特定非営利活動法人「スーダン障害者教育支援の会」を設立して精力的に活動しています。アブディンさんは「人間力大賞2008」(地球市民財団奨励賞)を受賞。この賞は、環境、国際協力、医療・福祉、文化・芸術、スポーツ、その他の分野で積極果敢な活動・挑戦を続けている人間力あふれる若者を発掘し、さらなる活躍を期待して国民全体で応援する「青年版国民栄誉賞」として、日本青年会議所(JC)が主催しています。



国際児童図書評議会 (IBBY) 朝日国際児童図書普及賞 受賞

チャンタソン・インタヴォン さん

(ラオス/1983-86/東京都立大学大学院/東京銀座RC)

よねやまだより

チャンタソン・インタヴォンさんが共同代表を務める特定非営利活動法人「ラオスのこども」は、ラオスでの絵本や児童書の出版、学校図書室の整備、教員や教員を目指す学生への研修を通じた読書習慣の普及などに取り組んでいます。その活動はラオスの教育省をも動かし、教員養成学校のカリキュラムに読書推進活動が導入されるま



でになっています。長年にわたるその活動が国際的に認められ、2008年4月、青少年の読書推進活動に貢献している市民団体に贈られるIBBY・朝日国際児童図書普及賞を受賞しました。授与式は同年9月9日に、デンマーク・コペンハーゲンで行われ、チャンタソンさんのプレゼンテーションには各国の団体から大きな関心が寄せられました。



總統科学賞 受賞

リョウ イツキウ

廖 一久 さん

（台湾／1965－68／東京大学大学院／田原RC）

台湾で「エビ養殖の父」と呼ばれる廖一久さんが2009年12月、第5回總統科学賞を受賞しました。この賞は、台湾の数理科学・生命科学・社会科学・応用科学分野において、2年に1回、顕著な功績を残した研究者に贈られる、台湾で最も権威ある科学賞です。廖さんは、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させ、ボラ、サバヒ一等の人工繁殖世界記録を打ち立てるなど、台湾はもとより、世界の養殖業に多大な影響を与えました。研究者としてだけでなく、国立台湾海洋大学教授、台湾水産学会理事長、財団法人中華農学会理事、中央研究院院士など、研究・教育において40以上の重職を歴任し、国民から尊敬と信頼を得ています。



馬英九總統からトロフィーを受け取る廖一久さん（右）

私が学んだ50年前は、台湾も日本も貧乏な時代でした。米山記念奨学金のお陰で勉学に励むことができ、7日7晩寝ずにエビの研究に没頭したこともありました。その成果として、帰国後、エビや魚などさまざまな養殖に成功し、世界的名声を得ることができました。日本のロータリアンの皆様にも心より感謝を申し上げます。

大佛次郎論壇賞 受賞

バク ユハ

朴 裕河 さん

すばらしい贈り物

（韓国／1987－88／早稲田大学大学院／浦和北RC）

日本の政治・経済・社会・文化・国際関係等をめぐる優れた論考を顕彰する「大佛次郎論壇賞」。この第7回（2007年）受賞作に、韓国・世宗大学日本文学科副教授の朴裕河さんの著書『和解のために一教科書・慰安婦・靖国・独島』（平凡社）が選ばれました。朴さんは、他に『反日ナショナリズムを超えて』などの著書があり、日韓両国の国民が互いによく知り、理解し合うことの重要性を主張しています。



授賞式での朴裕河さん（中央）と半田昭雄カウンセラーご夫妻

授賞式には当時の米山カウンセラーもご招待しました。受賞スピーチで私は「日本を信頼し続けていきたい」と述べましたが、そのように言えるようにして下さった方々に感謝の言葉をじかに聞いていただきたかったからです。ロータリアンの方々には、いまだ何もお返しができていないのですが、そのような気持ちをこの場を借りてお伝えしたいと思います。

芸術を担う学友たち ～文化芸術の表現者として活躍

ジャン シャオイェン

姜 暁艶 さん

よねやまだより

中国民族楽器（二胡）

（中国／2000－2002／広島大学大学院／広島西南RC）

姜暁艶さんは、医学博士号を持つ二胡奏者。テレビ、留学生活の孤独感からうつ病になり、絶望のふちにいた彼女を救ったのは、仏教の教え、そしてロータリーとの出会いだったと言います。2004年には、ニューヨークでの広島原爆記念式典で追悼演



奏を行ったほか、2006年、平山郁夫美術館の特別記念展「仏の来たシルクロード」でコンサート開催。そのほか、地震で被災した新潟や中国・四川省など、心を痛め、苦しむ人がいる所に足を運んでは命の尊さを語り、二胡の音色で人々の心を癒やしています。二胡音楽院院長、日本二胡学会理事。広島大学医学部客員研究員、遼寧中医大学附属日本医薬学院（東京）講師。



シャ セツバイ

謝 雪梅 さん

中国民族楽器（古箏）

（中国／2001－03／島根大学大学院／松江しんじ湖RC）

7才から古箏を学んだ謝雪梅さんは、島根大学卒業後、中国民族楽器ユニット華樂三姉妹や、日本のSaya、韓国のコッピョルとのユニット"アジアの女神達"を結成して



デビュー。後者のユニットで発表した「Wish a World」は、中京テレビの愛知万博（愛・地球博）テーマソングになりました。第10回長江杯国際音楽コンクール第2位、第20回アジア国際文化芸術フェスティバル審査員特別賞、麒麟杯歌手コンクール第3位入賞など、コンクールでも多数入賞。2005年には、第3代横浜観光親善大使に選ばれ、横浜市のPRにも貢献しました。また、中国四川省大地震への支援活動として、日本各地をボランティア演奏でまわり、募金活動を行いました。



ジソン

Jisong さん

よねやまだより

クラシカルポップス

（韓国／2007－08／昭和音楽大学大学院／大和RC）

Jisongさんは、藤原歌劇団のソウル公演を観て感銘を受け、オペラ歌手を目指して日本に留学。在学中の2007年6月に国立競技場で行なわれた女子サッカー北京五輪アジア最終予選（日本vs韓国）で韓国国歌を斉唱するなど、その実力は学生時代から認められていました。2008年、昭和音楽大学とレコード会社



VAPとの産学協同プロジェクトの歌手に選ばれ、2009年1月に『二つの宇宙』でCDメジャーデビュー。2010年6月には、ファーストアルバム『The Everlasting』がリリースされました。このアルバムでは、クラシックや映画音楽の名曲をアレンジし、Jisongさんならではの透き通るようなソプラノボイスを堪能できます。ホームページ（<http://www.vap.co.jp/jisong/>）で試聴も可能です。ぜひお試しください。



する学友をご紹介します～

ツァン イーミン 張 義明 さん

(台湾／1997-99／和歌山大学大学院／和歌山城南RC)

交通事故で瀕死の重傷を負いながらも、陶芸への情熱をばねに後遺症を克服し、新進気鋭の陶芸家として活躍中の張義明さん。2006年11月から2ヶ月間、母国・台湾で



“陶芸の町”として有名な台北県立鶯歌陶芸博物館で、台北県政府の主催で個展を開催。また、2009年3月には、毎日新聞社主催の「日本陶芸展」で見事入選を果たしました。実力日本一の陶芸家を選定することをコンセプトにした同展にはトップレベルの作品が寄せられ、公募展の中では「最も狭き門」と言われています。

陶 芸



パク ソンハ 朴 善化 さん

(韓国／2006-08／京都市立芸術大学大学院／京都乙訓RC)

朴善化さんは、文化財の保存修復を専攻。米山奨学期間終了後も、世話クラブの京都乙訓RCが独自に奨学支援し、2009年3月、念願の博士号を取得しました。朴さんがこれまでに制作した仏画模写を展示した招待展が、韓国三大名刹寺院に数えられる釜山の通度寺(トンドサ)内の聖宝博物館で、2009年3月6日～4月11日の1ヶ月にわ



たり開催。朴さんの作品は高い評価を受け、引き続きソウルの仏教中央博物館(韓国最大の聖宝博物館)でも、5月13日～19日の7日間、招待展が開かれました。釜山・ソウルの両展覧会には、朴さんの米山カウンセラーである山本敏彦氏(京都乙訓RC)が家族とともに訪れ、朴さんを激励しました。

仏画模写



キム キョンミン 金 景ミン さん

(韓国／2007-08／多摩美術大学大学院／東京多摩グリーンRC)



第92回二科展(2007年)の彫刻部最優秀作として、金景ミンさんの作品「大地の気運」が二科賞に輝きました。彫刻部の二科賞は数年間該当作品が出ておらず、また、審査基準の厳正化により例年よりも入選作品の少ない中での快挙でした。受賞作品は、2007年9月5日～17日の間、国立新美術館(東京都港区)にて展示されました。金さんは、2008年3月、博士号を取得。スチール彫刻の第一人者を目指す金さんのこれからの活躍が期待されます。

彫 刻

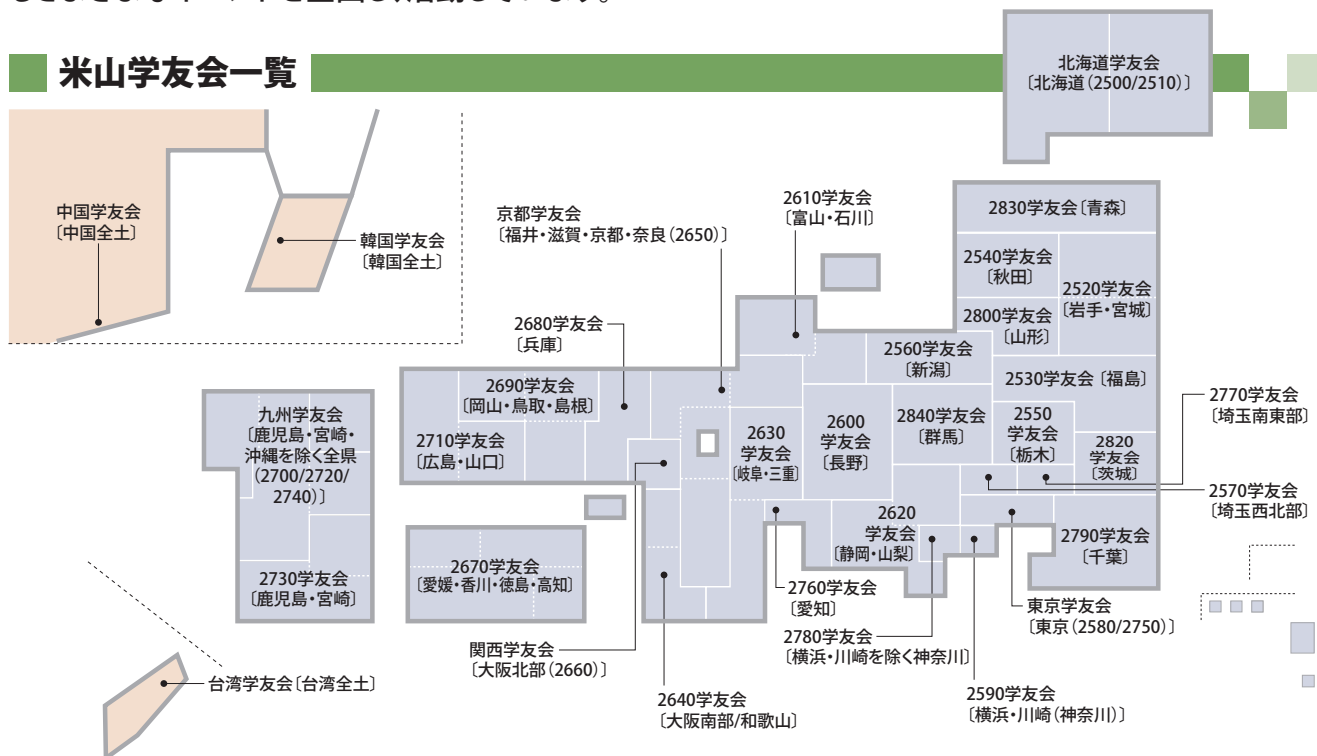


3 米山学友会の活動

米山学友会は、学友と現役奨学生によって組織される米山記念奨学生の同窓会組織です。現在、日本国内に30、海外に3（韓国・台湾・中国）の計33の米山学友会があります。

学友会によって活動内容は異なりますが、地区米山奨学委員会やロータリアンと連携して、交流を深めるさまざまなイベントを企画し、活動しています。

米山学友会一覧



米山記念奨学会HPで動画配信中!

国内初! 米山学友を中心としたロータリークラブが誕生しました

米山学友を中心に、国内で初めて新世代のロータリークラブが誕生しました。東京米山友愛ロータリークラブは、2010年2月11日に創立総会を開き、3月16日に第2750地区の91番目のクラブとして、国際ロータリーより加盟認証されました。

創立会員23人のうち、18人が米山学友です。加盟認証状伝達式は5月30日に400人以上を集めて盛大に開かれました。初代会長の楊錦華さんは、「私たちは、助けを必要とする人々の力になりたいという友愛の精神を持ち、世界の懸け橋となるような活動を目指している。ロータリーの綱領、4つのテストを理解し、ロータリー

リーの伝統を重んじながら、会員の若さや国籍の多様さ、パワーを活かして、奉仕の理想に根差した活動を積極的に進めていきたい」と、決意を語りました。



—新歓オリエンテーションや奉仕活動で連帯感を培う—

第2780地区(神奈川県)学友会

国内で最も活発に活動している学友会の1つです。ロータリー地区主催の新規奨学生オリエンテーションや奨学生終了式には学友会を挙げて協力。地域の海岸清掃・ゴミ拾いを行うクリーンキャンペーンを毎年実施しています。

このほか、地区大会での各国のお茶サービス、ロータリアンに母国の手料理で感謝を伝える「国際交流会」、フットサルチームの活動など、奨学生・学友が一体となって精力的に活動しています。



海岸クリーンキャンペーン



児童ホームの子供達とフットサル交流

—学友会独自の奨学制度をスタート—

第2770地区(埼玉県)学友会

2008年より学友会独自でスリランカの高校生への奨学支援を開始。また、中国四川省大地震やミャンマーのサイクロン被災者のために義援金を送るなど、災害復興支援活動にも熱心に取り組んでいます。そのほか、地域の清掃活動や特別支援学校での国際交流活動も行っています。



四川省・ミャンマー災害復興支援の義援金贈呈

そのほか、こんな活動をしている学友会があります



中越地震被災者慰問【第2560地区】



秩父音頭まつりに参加【第2570地区】



財団学友会と協力し、こども医療センターに各国の絵本寄贈【第2590地区】



富士山世界遺産登録推進キャンペーン登山に参加【第2620地区】



中国青海省地震募金活動【第2730地区】



着物着付け体験【第2800地区】

—台湾に留学する日本人支援の奨学金を創設—

台湾米山学友会

1983年1月設立。正式名称：社団法人 中華民國扶輪米山会。国内・海外を含めて米山学友会の中では最も歴史が古く、また、最も活発に活動している学友会です。ロータリアンになっている学友も多く、日台親善会議やインターアクト研修旅行など、ロータリーの日台交流でも学友会会員が大活躍しています。

2009年には、留学中に支援を受けた日本のロータリーへの恩返しにと、台湾の大学・大学院で学ぶ日本の若者へ奨学金を支給し、日台の絆を深める人材を育てる「日本人若手研究者対象奨学金制度」を創設。学友からの寄付金を原資に、毎月25,000台湾ドルを1年間支給するほか、カウンセラー制度も備え

て、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。

第1号奨学生に選ばれた山下世莉さん(国立政治大学大学院に留学中)は、「空港で学友会の方が横断幕を広げて温かく迎えてくださり、それまでの緊張が一気に解けました。その後も、多くの元米山奨学生の方々とお会いする機会があり、留学時代のお話や、アドバイスを聞くことができました。阮理事長(当時)はじめ皆さんが、“私たちが台湾の家族だと思って、いつでも頼ってください”と言ってくださり、これほど心強いことはありません。米山学友会の奨学生になったおかげで、毎日充実した生活を送ることができています」と、感想を寄せてくれました。

2010年には、第2号奨学生が誕生します。



台湾学友会による日本人奨学生第1号の山下さん(左)

—2010年、体制を一新して再スタート—

韓国米山学友会

1989年6月設立。初代会長は、米山学友として初めてガバナーになった林隆義さん(1977-78/京都大学大学院/京都西南RC)です。これまで学友会としての活動は低調でしたが、2010年5月に数年ぶりに総会が開かれ、韓国全土から77人の学友が集まりました。そのほとんどが大学の教授、准教授として、教育・研究職に従事しているのが特長です。総会では新役員が発表され、第4代会長に祥明大学教授でニューソウルRC会員の柳京子さん(1981-83/筑波大学大学院/北茨城RC)が就任。今後は総会の定

期的開催、ホームページの開設、地域別支部の設置など積極的な活動を展開する予定です。



— 上海での第2回総会には学友・ロータリアン合わせて400人以上が参加 —

中国米山学友会

米山記念奨学会HPで動画配信中!

2009年3月設立。2008年に設立された北京を中心とする華北分会と、2002年に中津川RCの支援を受けて設立された上海分会が力を合わせて中国全体の学友会を設立しました。毎年の総会は華北分会と上海分会が交互に開催。また、中国米山学友



会の会長も各分会の会長が交互に務めます。ロータリーの奉仕の精神を学友会活動に生かそうと、親睦活動のほか、それぞれの分会では、奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。

2010年7月に上海で開かれた中国米山学友会第2回総会では、中国全土と日本から集まった米山学友161人と、日本のロータリアン・家族ら253人の400人以上が参加する盛会となりました。上海分会

会長で2010年度の中国米山学友会会長を務める張晋岩さん(1993-95/鈴鹿西RC)は「感恩・交流・奉仕」を掲げ、「日本のロータリーへの感謝を伝え、幅広く交流を行い、奉仕活動をスタートする」との学友会活動方針を表明。壇上の学友からは、カウンセラーや世話クラブへの感謝の思いが次々に語られ、会場の各所で旧交を温めるロータリアンと学友の姿が見られました。



上海総会に参加した87の中国学友世話クラブに学友会から感謝盾贈呈



カウンセラーと学友がペアで登壇



国籍や世代を超えて400人以上が「手に手つないで」を合唱

世話クラブ・カウンセラー制度があればこそ

ロータリー米山記念奨学事業の最大の特長は、「世話クラブ・カウンセラー制度」による心のこもった支援にあります。奨学生は毎月1回ロータリークラブの例会に通い、クラブの行事に参加するなどして、ロータリアンとの交流を図ります。

奨学生にとっては、大学生活では味わえない地域の日本人との交流の機会であり、ロータリアンにとっても、奨学生と触れ合うことで、事業への理解を深め、さらなる支援の意欲につながっています。

人を知り、文化を知り、お互いへの関心を深めて“小さな平和”の創造を実践していく——世話クラブ・カウンセラー制度こそ、世界に平和の種をまくロータリー米山記念奨学事業の神髄なのです。

出会い

ロータリー米山記念奨学生 **崔 明福**

(中国／2009-11／広島廿日市RC)

人は、生きていく中でさまざまな出会いがある。また、その出会いがきっかけで、人生が変わることもある。私は2009年4月からロータリー米山奨学生になった。米山奨学会には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援がある。

私のカウンセラーは、廿日市ロータリークラブの青木秀行さんだ。カウンセラーとは、奨学生1人に対し個別的ケアにあたるアドバイザーのことである。青木さんは、とても優しく温かい人で、アドバイザーと言うより、今はもはや私の父みtainな存在だ(ちょっと若いお父さん)。青木さんは、定期的に電話で生活や勉強の進捗状況について心配してくださった。また、日本の文化をもっと体験してほしいと言いながら、北広島町で開かれた無形文化財「花田植」や美術館、いろいろな施設などにも連れていってくださった。このように、数え切れないほどお世話になっているけれども、その中でも特に忘れられないことがある。

ある日、国の実家から、私がそばにいないことが原因で、子どもが不登校になったと、突然電話がかかってきた。私は、どうしたらいいか分からなくなった。その時、青木さんは私にこう言われた。

「目標に向かって走っている時に、気持ちが動揺してはいけません。目標を達成するまでには、さまざまな失敗や苦労があります。今は崔さんもお子さんも確かに寂しい思いをしているけれど、その代わり、崔さんが勉強を終えて国に帰ったら、将来たくさんの障

害を持っている子どもたちを助けられる、そのために、崔さんが日本で勉強しているということをお子さんによく説明してあげたら、お子さんもきっと分かってくれると思います」

夕方、青木さんの奥さんからメールが来た。「崔さん、困ったことなどがありましたら、一人で悩まず、いつでもいいから家に来てください。日本の実家と思ってください。崔さんは私の娘です」

メールを見た瞬間、涙が出てきた。日本に来てつらいことがたくさんあったけれど、涙なんか流したことは一度もなかった。青木カウンセラー夫妻の気遣いに胸が熱くなった。その晩、私は子どもと電話でよく話をし、子どもの理解を得ることができた。

私は、ロータリークラブに出会ってからは、独りぼっちではなくなった。今、日本には私の＜実家＞があり、日本の＜母＞と＜父＞がいる、また、私をいつも正しい方向に導いてくれるロータリークラブがあるということを考えると、いつも心強い。私は、この出会いを一生大切にしていきたいと思っている。



米山奨学生の実家を訪ねて

横浜港北ロータリークラブ 亀ヶ谷 邦博

11月にうれしいメールが届きました。初めてカウンセラーを務めた2007-08年度の米山奨学生、ヴ・レ・ビック・フーオンさん(以下、愛情を込めてフーオンと呼ばせてもらいます)が、旧正月としては9年ぶりの帰省をするので、一緒にハノイの実家を訪ねて、一人、留守を守る母親に会ってほしいというお誘いのメールでした。

フーオンは、2009年3月、東京工業大学工学部修士課程を大変優秀な成績で卒業し、東京日建設計に就職。構造計算を専門として実務経験を習得中です。母ひとり、子ひとりのフーオンですが、18歳の時、国費留学で来日以来9年間、勤勉に努力を続ける敬服すべき女性です。小柄な体のどこにその情熱やエネルギーが潜んでいるのか不思議なほど、遠慮深くシャイなフーオンからの今回の呼びかけのメールは、私の喜びであり、驚きでもありました。私は家内と



ともに急ぎ飛行機とホテルの手配を進めました。

フーオンの実家には、ベトナムの正月元旦、2月14日の昼にお邪魔いたしました。町の中心から車で20分ほどの新しい住宅地の13階建てマンションの1室で、フーオンをさらに一回り小柄にしたお母さんが、笑顔で迎えてくれました。テーブルの上には心づくしの手作りのお正月料理があふれるように並べられて、大歓迎してくれました。数日前から準備が大変だったことでしょう。果汁で炊いたほのかに甘い赤飯、お祝いのちまき、数々の珍しいお料理をお腹一杯ごちそうになり、言葉の壁を越えて、フーオンのお母さんから貴重なお話をたくさんお聞きすることができました。

フランス統治時代に活躍された美しいお母様のこと、ベトナム戦争で戦死されて英雄となられたお兄様のこと。お母さんご自身、小学校の先生として銃後を守られたこと。今は一人静かに暮らしているが、フーオンの今後については本人の意思を尊重して、自由にさせたいと思っているとお話くださいました。激しい戦火をくぐり抜けた者の強さと高い誇りを感じました。

異国での9年間というフーオンの頑張りの、その源流を見たような、そんな納得の実家訪問となりました。100人の米山奨学生には100通りの源流があるのだと、思いを馳せた貴重な経験となりました。

准教授になった元米山奨学生を迎えて

下妻ロータリークラブ 本橋 隆一

1998-99年度、私たちのクラブで受け入れをしていた韓国からの米山奨学生、劉庭秀(ユ・ジョンズ)さんが、11月(2007年)、学会でつくば市を訪れるとのことで、急きょ、歓迎夕食会を行い、和やかなひとときを過ごしました。

米山奨学生は奨学金支援が終わると、ロータリーや日本人との交流がなくなってしまう傾向がある、ということを知っていた劉さんは、当クラブの事業にも積極的に家族で参加し、大学卒業後も茨城県内の企業に就職しました。最初のころは「外国人だから長く勤めなくてもいい」と言われた彼でしたが、退職しようとしたときには、「もっと長く勤めてほしい」と言われたそうです。

その後、東北大学大学院国際文化研究科准教授になり、「アジア環境フォーラム」を立ち上げ、自動車

リサイクル問題を中心に活躍しています。

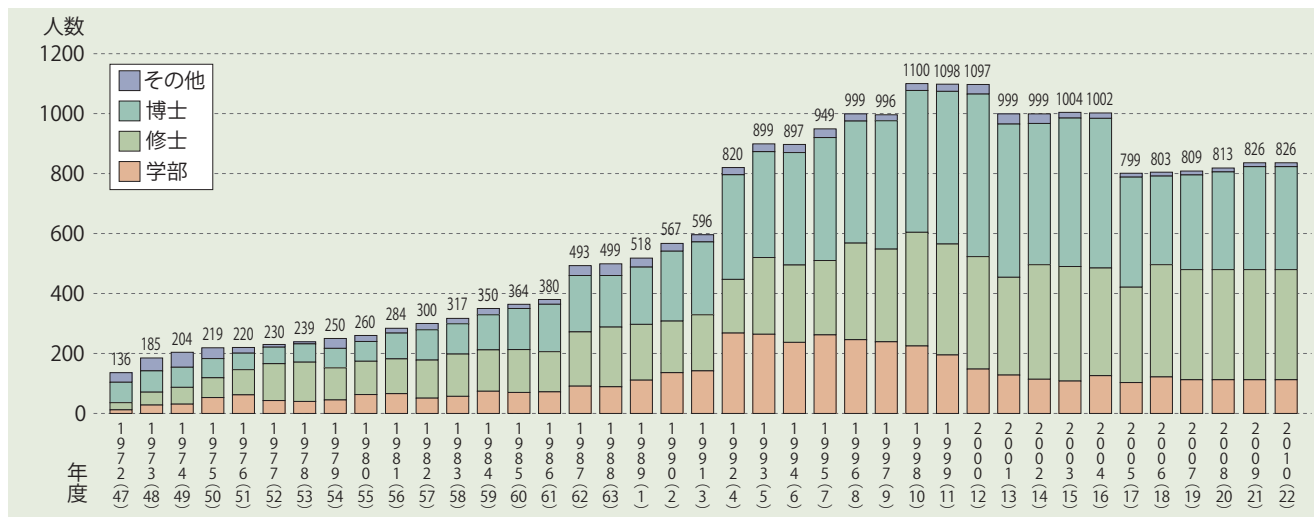
歓迎会に参加した会員は、日本に溶け込もうとする劉さんの努力と、劉さんが米山奨学生だったときにカウンセラーを務めて以来、ずっと親交を持ち続けていた中嶋正視会員の支援に賛辞を送りました。

このような積み重ねが世界の友好、平和につながることを確認するとともに、米山奨学生制度のすばらしさを再認識しました。

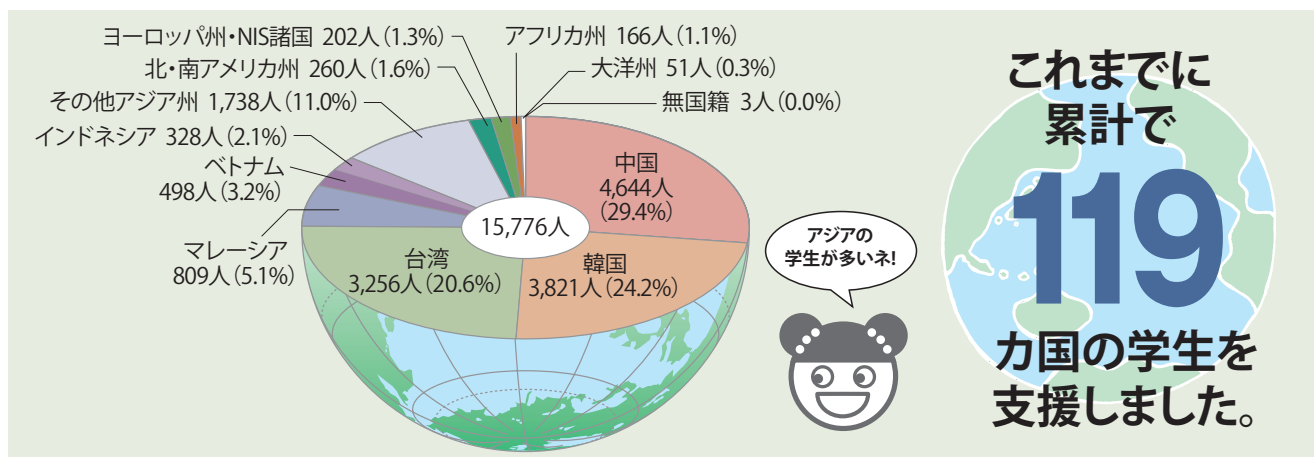


データで見る米山学友

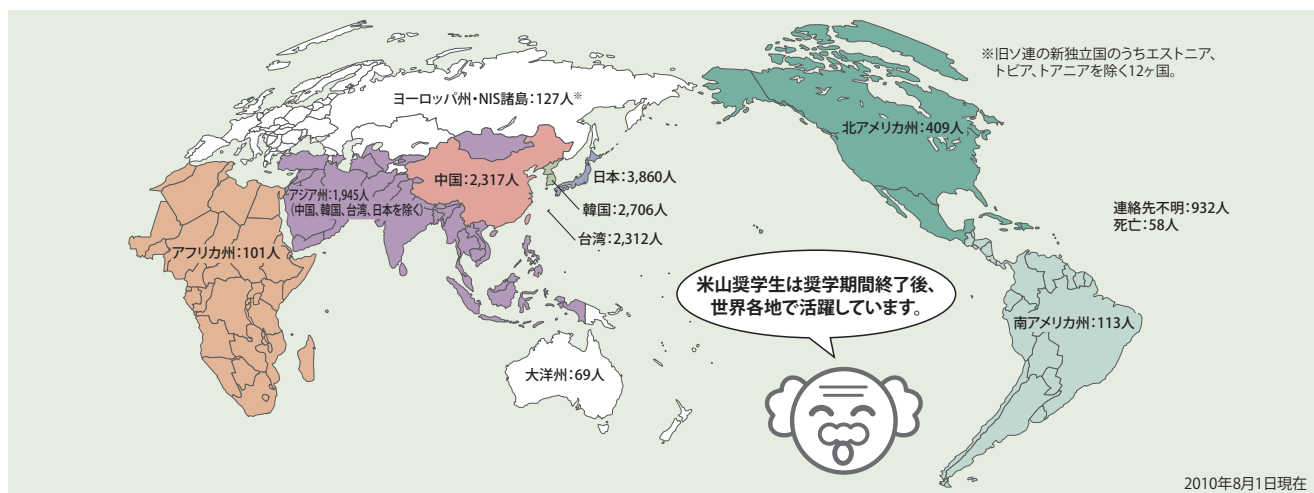
1. 米山奨学生数の推移

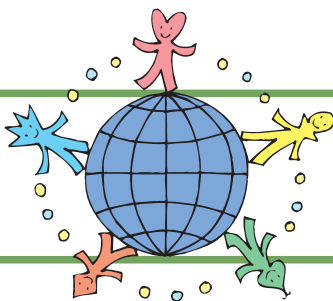


2. これまでに支援した奨学生の国・地域



3. 世界で活躍する米山学友





Q1 出身校BEST10は？

1	東京大学	883人
2	筑波大学	581人
3	大阪大学	462人
4	東北大学	358人
5	九州大学	306人
6	京都大学／名古屋大学	各305人
7	信州大学	304人
8	神戸大学	298人
9	東京工業大学	292人
10	千葉大学	282人

※複数回奨学金を受けた者で異なる学校に所属した者は、それぞれの学校でカウント

Q2 博士号取得者数は？(申請ベース)

A 3,210人 (国外取得者や渡日前取得者を含む)

【博士号取得者の国・地域ランキング】

1	韓国	1,234人
2	中国	1,082人
3	台湾	599人
4	Bangladesh	67人
5	インドネシア／ベトナム	25人

【博士号の種類】

1	工学	1,045件
2	医学	498件
3	農学	467件
4	理学	309件
5	人文学	204件

(米山奨学会独自の分類です)

Q3 学友の現在の職業は？

1	教育	3,696人
2	企業	2,803人
3	研究所	426人
4	病院	326人
5	自営業	161人
6	官吏	135人
7	主婦	69人
8	政治家	2人

教育関連の仕事についている人が多いんだね。



(米山奨学会独自の分類です)

Q4 ロータリアンになった学友の国・地域

A 126人 (米山奨学会把握分)

1	台湾	67人
2	韓国	25人
3	中国	14人
4	ネパール／マレーシア	各4人
5	インド／ Bangladesh／スリランカ	各2人

学友が作ったロータリークラブ

台湾の台北東海ロータリークラブ(RC)は、1995年に学友が力を合わせて立ち上げた初のクラブです。日本語を公用語とし、日本との親善交流に尽力しています。この他、2007年には台中文心RC、2010年には日本の第2750地区に東京米山友愛RCが米山学友を中心にして設立されました。

ホームページでも多くの米山学友の活躍をご紹介します。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



事業紹介ビデオのページ

事業紹介ビデオ『すばらしい贈り物』(3分割)・学友の活躍紹介ビデオ『心つないで、世界へ』の視聴が可能です。そのほか、米山学友関連のイベントやインタビューの映像を順次追加して配信しています。

奨学生・学友の活躍ページ

米山学友や学友会の活動を紹介しています。「(ロータリーの友)よねやまだより」掲載記事のほか、「ニュース」「巣立った学友は今」「学友会活動」「すばらしい卓話、スピーチ」など、さまざまなページがあります。

ハイライトよねやま

毎月1回発行するニュースレター「ハイライトよねやま」の最新号と全バックナンバーを掲載しています。毎号、寄付金速報や奨学事業に関するニュースのほか、米山奨学生・学友の活躍もご紹介しています。



財団法人ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本協会全国委員会プロジェクト

財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281

ホームページ <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



この印刷物は、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC認証紙」と、VOC(揮発性有機化合物)発生量が少なく生分解性に優れた「大豆油インキ」を使用し、印刷には水質汚染の原因となる有害な廃液が発生しない「水なし印刷」を採用しています。また、工場の消費電力の一部はCO2を排出しない「グリーン電力」を使用しています。

RYS.15T.2010-9